



Maeda Hospital



前田病院概要

名称 / 医療法人幸善会 前田病院
 管理者 / 前田 利朗
 所在地 / 〒848-0027 佐賀県伊万里市立花町2742番地1
 TEL / 0955(23)5101(代)
 FAX / 0955(23)3315
 診療科 / 内科/腎臓内科/糖尿病内科/消化器内科/漢方内科/呼吸器内科/
 アレルギー科/血液内科/整形外科/リハビリテーション科

交通アクセス

伊万里駅より車で約10分

最寄りバス停…いまりんバス-前田病院前/西肥バス-小式原
 シャトルバスを運行しております。詳しくは受付まで。

生涯、あなたとつながりあえる医療を…。



医療法人幸善会
前 田 病 院

心・信・真《安心と信頼の医療を真心こめて》



おかげさまで前田病院は2016年に100周年を迎えます。

沿革

| | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1916年 前田利通が前田病院を開業 | 1991年 託児所「ほがらか園」を職員の福利厚生施設として開設 |
| 1948年 前田知佑が事業継承 | 1994年 腎センターを建設(最大同時透析50床) |
| 1954年 法人組織に改め、「医療法人前田病院」となる | 1999年 本院77床をケアミックス病棟に、長生園分院52床を療養型に再編 |
| 1963年 長生園分院を開設 (結核病棟および運動機能回復施設) | 2000年 長生園分院の一部を介護療養型医療施設へ変更 |
| 1972年 伊万里川河川拡幅工事に伴い病院を新築(7階建) | 2003年 腎センターを増築(最大同時透析100床が可能) |
| 1982年 関連施設である特別養護老人ホーム長生園(70名)が完成 | 2004年 法人名を「医療法人幸善会」と改称 |
| 1984年 長生園分院を特例許可老人病院として新築 (結核病床廃止) | 2006年 本院・長生園分院統合のための新築移転工事開始 |
| 1989年 前田利朗が事業継承 人工透析治療を開始 | 2007年 新病院竣工 |



医療法人幸善会 前田病院
理事長 前田 利朗

ヒト、地域、そして次世代のために

前田病院は1916年に開院し、まもなく100年を迎えようとしています。これまで前田病院は信頼される病院であることを心がけ、またそうであることを誇りとして地域医療に携わってまいりました。

4世紀のローマで、聖女ファビオラが巡礼者のために食事とベッドを用意し、病める人には治療のための家を提供したというのが病院の始まりだと言われます。それはホスピス《異国の友》と呼ばれ、現在のホスピタルやホスピスの語源になっています。急速に高齢化が進む中で、医療は単に疾病の治療に留まらず、介護や福祉と一体となった全人的な医療というのが、近年、ますます求められるようになっていきます。これこそが病院の本来の務めであり、私どもが目標としている医療でもあります。

2007年に前田病院は新病院を建設しました。そのときに心がけたのは、自宅のような気持ちで過ごせる病院の建設でした。窓からは青螺山、腰岳、国見山、大平山などの故郷の山々、そして市街地の向こうには伊万里湾大橋を経て遙かに海をも望めます。山・空・海の遠景とともに病院を囲む庭園の木々や草花などの自然環境は、療養の場としてこれ以上のものはないと自負しています。

当然のことながら、病院は器ではなく、その医療の質が問われます。当院では、急性疾患だけではなく、長期療養を要する慢性疾患や介護が必要な方まで、幅広い診療を同時にできる病院を目指しています。

これからも皆様に満足していただける医療を提供できるよう、病院理念の「心・信・真」《安心と信頼の医療を真心こめて》を心に留め、その職責を果たしてまいりたいと思います。

ひとり一人と 心から向き合い
前田病院だからできる、質の高い医療を提供しています。

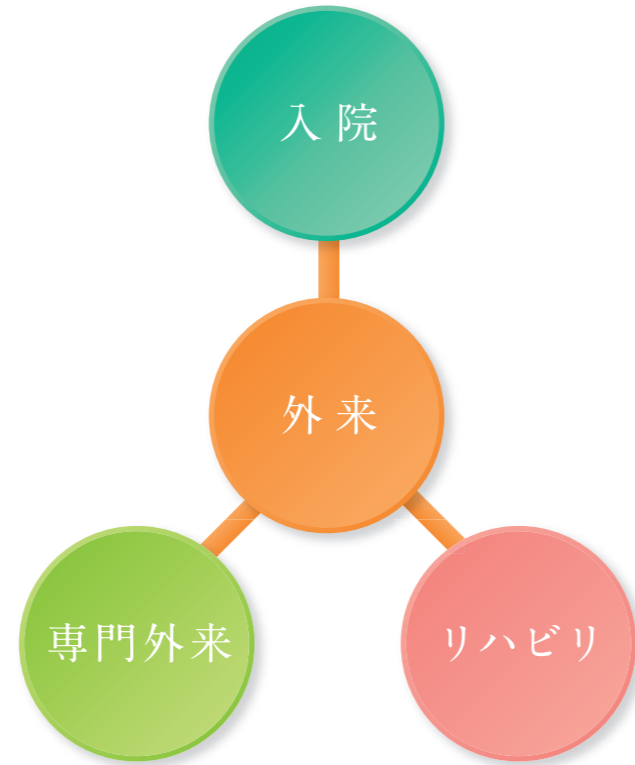


診療のご案内

- 内科 … 咳、発熱、腹痛などの一般診療
- 腎臓内科 … 尿蛋白などの検尿異常、高血圧、糖尿病などの生活習慣に伴う慢性腎不全の予防と治療
- 糖尿病内科 … 糖尿病治療と共に、栄養指導・フットケア・透析予防
- 消化器内科 … 上下部消化管内視鏡検査および治療
- 漢方内科 … 心と身体を統合する漢方治療
- 呼吸器内科 … 睡眠時無呼吸症候群、禁煙外来、肺がん検診
- アレルギー科 … 喘息を中心とするアレルギー疾患の診断と治療
- 血液内科 … いろいろな血液疾患の診断と治療
- 整形外科 … 骨、関節、靭帯、末梢神経、筋肉などの運動器に関わる疾患の治療
- リハビリテーション科 … 疾患別リハビリテーション、専門医による摂食嚥下リハビリテーション

非常勤所属医療機関

- 内科:九州大学病院・佐賀大学医学部附属病院・麻生飯塚病院
- 腎臓内科:九州大学病院・佐賀大学医学部附属病院・麻生飯塚病院
- 消化器内科:福岡大学筑紫病院・きくち胃腸内科クリニック 漢方内科:医療法人素心庵栗山医院
- 呼吸器内科:小倉医療センター
- 血液内科:佐賀大学医学部附属病院 整形外科:副島整形外科病院
- リハビリテーション科:佐賀社会保険病院



診療時間

平日 … 9:00～12:00 / 14:00～17:30 (内科 15:00～17:30)
土曜 … 9:00～12:00
休日 … 土曜日午後・日曜日・祝祭日・お盆・年末年始



糖尿病内科

糖尿病は、食べ過ぎ・運動不足・体質などが原因で起こります。一番効果の高い治療は食事療法です。食事療法にはテクニックがあります。「食べ過ぎに注意しましょうね」では一生無理です。きちんとしたテクニックを身につければ美味しく食事療法ができます。まずは血圧を測る、血糖を測る、体重を測ることで状態を把握することからはじめましょう。

糖尿病教室

前田病院では糖尿病について正確で新しい知識を習得し、正しい自己管理のもとに日常生活を送ることを目的として医師、看護師、薬剤師、健康運動指導士、管理栄養士がチームを組み、糖尿病教室を行っています。



消化器内科

人間が毎日の生活を営む上で消化管は重要な働きをしています。そのため胃腸は日頃、脂物の多い食生活や様々なストレスで過酷な状況に置かれています。当院では逆流性食道炎・過敏性腸症候群等をはじめとして、あらゆる疾病に対応した医療を行っています。

上部消化管内視鏡検査では、ご希望により経鼻と経口の選択が可能です。下部消化管では特殊光(NBI)内視鏡検査で癌の早期発見に努めています。

血液内科

血液内科では、各種の貧血をはじめとして血液のがんである白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性血液疾患、出血傾向や血栓傾向を生じる病気まで、いろいろな血液疾患の診断や治療をしています。例えば、貧血ではめまいや動悸といった症状、白血

球異常では発熱やリンパ節のはれ、血小板異常では出血しやすいなどの症状がみられることがありますが、血液検査をしなければ診断できません。このような場合はお気軽にご相談下さい。

呼吸器内科

喘息・肺気腫をはじめ、呼吸器疾患全般の診療を行います。睡眠時無呼吸外来、禁煙外来、肺がん検診も行っていきます。

リハビリテーション科

[リハビリ部門の充実]

リハビリテーション課は、入院・外来患者さんの治療を担うリハビリ室と地域の方々の健康を図る健康増進センターからなります。この2つのセクションが連携し、地域のみなさんへ安心と信頼のリハビリを提供いたします。

- リハビリ室
- 健康増進センター
- ・理学療法
- ・作業療法
- ・言語聴覚療法
- ・介護療養病棟リハビリ
- ・訪問リハビリ
- ・通所リハビリ(デイケア)
- ・疾病予防



腎臓内科

[人工透析]

6時間透析の実施

透析とは悪くなった腎臓の代わりに血液をきれいに洗う治療です。この治療がなかった頃はみなさん若くして命を落とされていました。医学の進歩とともに、透析の技術も進歩してきています。しかし透析は時間をかけなければ心臓や脳に負担がかかり長生きできません。透析時間が4時間では、10年後に約半分の方が命を落とされます。6時間では、10年後に約8割の方が元気に生存されています。透析患者さんの命と健康を守るために当院では、開設以来20年以上にわたり6時間透析を続けています。



安心の入院生活

複合病棟（医療・介護）

（面会時間…13:00～20:00）

当院の入院病棟は病気やケガを治療する一般病棟と、急性期の治療のち状態が安定し退院後の生活に安心して戻っていただくためのサポートをする療養病棟、介護保険を利用し長期に渡る療養をしていただく介護病棟からなります。

1階一般病棟の多床室は、クローゼットで区切られておりプライバシーに配慮しています。個室、多床室共に各部屋の大きな窓からは四季折々の風景がみられ、心も体も癒される環境作りを心がけています。

2階療養病棟・3階介護病棟は「ユニットケア」*1方式を導入し、入院・入所生活をよりご家庭に近い環境にてお過ごしいただけるよう取り組んでいます。介護が必要になっても「その人」らしい毎日、自宅に居るような暮らしができるように各担当のスタッフが、思いやりと優しさをもって患者さんや家族の方々と接し、心から満足して頂けるようにサポートしております。

*1:ユニットケアとは自宅に居る時と同じような生活を送っていただく為の個別の空間を提供し家庭的な雰囲気の中でケアを行うことです。当院では要介護認定を受けた方が介護保険を利用し、入所されます。

※詳しくは入院のしおりをご覧ください。

写真は夕食メニューの一例です。



地域貢献と健康長寿のお手伝い

健康増進センター

健康増進センターは、被介護保険者を対象とした通所リハビリ（デイケア）と地域に開放している疾病予防施設からなります。デイケアは利用者さんの自主性を尊重し、自立支援をサポートします。また疾病予防施設は地域の方々の生活習慣病の予防や健康増進をお手伝いします。



くらしと医療・介護をつなぎます

地域連携活動

当院では、下記のようなお問い合わせについて、専用の窓口にて対応しています。

- 退院後の生活や介護、社会復帰に不安がある
- 医療費の支払いなど経済的な心配がある
- 介護保険施設等への入所を検討したい
- 居宅サービス計画を作成してほしい
- 家族が他医療機関に入院しているが、前田病院に転院させたい
- 介護保険、障害者手帳のことで誰に相談したら良いかわからない医療・介護に関するご相談

患者さんやご家族の方々のお力になれるよう、MSW（医療ソーシャルワーカー）や看護師が問題解決にあたります。

お気軽にご相談ください。

詳しくは、居宅・地域連携課 直通 0955(23)5209 までお問い合わせ下さい。

楽しいひとときを提供しています

地域交流

地域とのふれあいや患者さん家族の方々との交流を目的として当院では、年間を通じた様々なイベントを開催しています。

- 出前講座
- もちつき会
- 納涼夏祭
- ロビー音楽会



病院スタッフ（保護者）が安心して預けられます

託児所 ほがらか園

保育方針

- 1 病院の託児所として病院スタッフ（保護者）が気持ちよく、安心して、子どもを預けられる環境を目指します。
- 2 一人ひとりの思いを丁寧に受けとめ、子どもたちの個性を伸ばし、のびのびとした保育を目指します。
- 3 安全・安心の保育を心がけ、家庭的で明るく楽しい雰囲気を大事にします。



Staff Voice

Q1 日頃、どのような想いで医療活動に取り組んでいますか。

Q2 他の病院にはない、前田病院の魅力はなんだと考えていますか。



医師（副院長）
前田 篤宏

A1 地域の皆さんへの恩返しと、生活習慣病の改善。

A2 スタッフの患者さんへの笑顔と愛情。



看護師
市丸 美穂

A1 何より安全・安楽を第一に考え、患者さんが少しでも笑顔になれるよう、明るく看護に取り組んでいます。

A2 気持ちよい挨拶を交わしているところ。また、ロビー音楽会等を通じて地域との交流ができているところ。



薬剤師
瀬戸 口善彦

A1 服薬指導により、安心・安全に薬を使っていただくサポートができればと思っています。

A2 6時間透析など、患者さんが第一という考え方。



言語聴覚士
増田 恵子

A1 入院中から退院後の生活にいたるまで、患者さんが安心して過ごしていただけるよう取り組んでいます。

A2 健康増進センター・疾病予防施設がある。糖尿病教室や教育入院、透析治療など、予防から治療まで力を入れて取り組んでいるところ。